



EXCELLENCE IN COMMUNICATION

2020年10月期 第2四半期

決算説明レポート

1. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について
2. 2020年10月期 第2四半期業績サマリー
3. 2020年10月期 業績予想
4. 参考資料

サマリー

■ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

- ・緊急事態宣言発令により国内企業の経済活動が停滞し、販売促進用広告市場が急速に縮小。また、企業の販促活動縮小に伴い、販売促進用広告制作の需要が大きく消失したことに比べ、オリンピック・パラリンピックの開催延期や展示会・イベント等の開催中止も大きなマイナス影響に。
- ・一方で、定例的な受注が確立しているゲーム機メーカー製品の売上は計画通りに推移。

■ 2020年10月期 第2四半期業績サマリー

- ・売上高14.1億円。営業利益1.8億円。昨年11月から3月までは売上、利益ともに堅調に推移するも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により4月の売上が大きく減速したことで、2Qの売上は期初計画より大きく落ち込む結果となった。

■ 2020年10月期 業績予想

- ・下期の売上については、期初予想と比して3Qは5割程度、4Qは7割程度と、国内経済の復調と連動して徐々に回復すると予想。
- ・このような前提の下、通期業績予想を下方修正。(2020/5/15発表済)
また、通期業績予想の下方修正に伴い、配当予想の見直しを実施。

期末配当金予想：(変更前) 50円 → (変更後) 20円



本日は、当社2020年10月期第2四半期決算説明をご視聴いただき、誠にありがとうございます。

株式会社ビーアンドピーの代表取締役社長、和田山でございます。

決算説明に先立ちまして、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、国内のみならず全世界において、新型コロナウイルス感染症に罹患されました多くの方々、並びに、心ならずもお亡くなりになられた方々に対し、心より深くお見舞いを申し上げます。

治療薬ができるまでは、新型コロナウイルスの感染を心配する日々が続きますが、皆様方におかれましては日々の感染予防に十分にご注意され、ご健康にお過ごしされることを心よりお祈り申し上げます。

それでは、決算説明を始めさせていただきます。

目次



- 1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について
- 2 2020年10月期 第2四半期 業績サマリー
- 3 2020年10月期 業績予想
- 4 参考資料

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved. 1

本日は、4つのトピックスに合わせて、ご説明させていただきます。

1. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

最初に、全世界に多大な影響を与えております新型コロナウイルス感染症拡大の影響についてご説明いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大の当事業への影響



販売促進用広告市場の状況

緊急事態宣言発令による国内企業の経済活動の停滞により、販売促進用広告の市場が急速に縮小。

当事業への影響

- 企業の販促活動の縮小により、販売促進用広告制作の需要が大きく消失。
- オリンピック・パラリンピックの開催延期、展示会・イベント等の開催中止も大きなマイナス影響。
- 一方で当社において常に一定の割合を占め、定例的な受注が確立しているゲーム機メーカー製品の売上は、計画通りに推移。
- 当面の資金繰りに関しては、事業活動を継続するための手元資金を現時点で十分に確保。

生産体制への影響

生産部門においては、従業員の感染防止策を徹底しながら通常時と同じ生産体制を維持しており、稼働に影響なし。

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

3

本年2月より新型コロナウイルス感染症拡大の影響が出始め、4月には緊急事態宣言が発令され、国内企業の経済活動は大きく停滞し、当社が主カビジネスとしております販売促進用広告の市場は、急速に縮小いたしました。

このように国内企業が販売促進活動を縮小したことにより、当社の販売促進用広告制作の需要は大きく消失いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大の原因となります、いわゆる「3密」を避けるため、オリンピック・パラリンピックの開催の延期を含めて、各種の展示会やイベント等は開催中止を余儀なくされ、当社にとり大きなマイナスの影響がありました。

しかしながら、一方では、当社の売上において常に一定の割合を占め、定例的な受注が確立しているゲーム機メーカー製品、具体的にはプリントシール機用カーテンですが、これについては、計画通りに推移いたしました。

なお、このような厳しい経済状況においても、当社における当面の資金繰りに関しては、事業活動を継続するための手元資金を現時点で十分に確保できております。

生産部門においては、従業員の感染防止策を徹底しながら、通常時と同様の生産体制を維持しており、稼働に影響はありません。

新型コロナウイルス感染症拡大への対応策について

事業継続策
の強化

- お客様からの信頼にお応えするべく、営業体制・生産体制双方の維持継続を図る
- 残業時間の抑制、不要不急の出張中止、各種研修延期等による**コスト削減**を実行

従業員の
安全確保

- 従業員の安全を確保し、柔軟な時差出勤の実施、在宅勤務の実施等、各種対策を実行

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

4

新型コロナウイルス感染症による現在の厳しい経済状況の中においても、まずは事業を継続させていくことが重要であり、そのために、次のことを強化しております。

コロナ感染症が収束しない中でも、以前と変わることなく、お客様へ短納期で高品質な商品をお届けすることが、お客様の信頼にお応えすることになります。このため、営業と生産の双方がこれまでと同様に稼働するように体制の維持、継続を図っております。

また、売上が縮小している現状において、採算を維持するために、残業時間を抑制し、不要不急の出張を中止し、研修等を延期する等の方策を取り、コスト削減を実行しております。

他方、従業員の安全を確保するために、柔軟な時差出勤の実施、在宅勤務を実施するなど、各種対策を実行しております。

2. 2020年10月期 第2四半期業績サマリー

2020年10月期 第2四半期 業績サマリー

2020年10月期第2四半期の業績サマリーを説明申し上げます。

2020年10月期第2四半期 業績サマリー



市場環境

新型コロナウイルスの感染拡大を受け全国に緊急事態宣言が発令されたことにより、4月以降は販売促進用広告市場全体が急激に縮小。

業績

売上高 **1,413百万円** 営業利益 **181百万円**
前年同期比 $\Delta 6.1\%$ 前年同期比 $\Delta 29.3\%$

業績のポイント

- 11月から3月までの5カ月間の売上は、大型広告案件を獲得するなど堅調であり、各段階利益もほぼ期初計画通りの結果。
- 4月になり、企業の販促活動が急速に縮小し、それに伴い広告制作需要が大きく消失したため、4月の売上は期初計画比約6割まで減少。

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

6

市場環境につきましては、3月までは比較的堅調でありましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大するに連れ、また、全国に緊急事態宣言が発令されたことにより、4月以降において販売促進用広告の市場全体が急激に縮小いたしました。

これにより、当第2四半期の売上高は、14億1,300万円、前年同期比6.1%の減収。また、営業利益は、1億8,100万円、前期比29.3%の減益となりました。

業績のポイント、つまり当上半期の特徴的な点は、本年3月までの期間と4月とで、様相が様変わりしたということです。当上半期の売上は、昨年11月から本年3月までの5か月間は、大型の広告案件の受注などがあり堅調でした。営業利益を始めとする各段階利益もほぼ計画通りの結果でありました。しかし、4月になると、企業の販促活動が急速に縮小し、それに伴い広告制作需要が大きく消失いたしました。このため、4月単月の売上は期初計画に比べて約6割まで減少いたしました。

2020年10月期第2四半期 P/Lサマリー



(単位：百万円)	2019.10 2Q (実績)	2020.10 2Q (実績)	対前年同期比 増減率 (%)	2020.10 通期計画 (5/15修正)
売上高	1,505	1,413	▲6.1%	2,500
営業利益	257	181	▲29.3%	190
経常利益	256	185	▲27.8%	193
当期純利益	177	127	▲28.2%	132

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

7

P/Lのサマリーです。先にご報告しましたように、当第2四半期の売上高は14億1,300万円、前年同期比6.1%の減収。また、営業利益は、1億8,100万円、前期比29.3%の減益。経常利益以下はご覧の通りで、各段階利益は前期比約3割近い減益となりました。

売上高は、3月まではほぼ前期並みに推移いたしましたが、4月になり売上が大きく落ち込みました。

営業利益の減に関しましては、前期第3四半期に上場したことに伴い株主管理やIR業務に関する業務委託費が発生していること、また、上場以降に外形標準課税を新たに適用したことにより租税公課が増加していること、並びに、4月単月の売上の落ち込みにより4月の利益が減少したことが、減益の主たる要因です。

表の右端には、5月15日に公表いたしました今期の修正業績予想を記載しておりますが、これについては後程ご説明いたします。

四半期単位の売上推移

第1Qはほぼ期初計画通り堅調に推移。第2Qにおいて新型コロナウイルス感染症拡大の影響により4月の売上が大きく減速し、第2Qの売上は期初計画より大きく落ち込んだ。



© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

8

各四半期の売上の推移です。第1四半期の売上は、ほぼ期初計画通り堅調に推移いたしました。また、第2四半期の3月までは第1四半期と同様に堅調に推移しましたが、これまでにご報告しております通り、4月になり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売上が大きく減速し、第2四半期の売上は期初計画より大きく落ち込みました。

こうした中でも、緑色の部分の、生活資材分野の売上は、第1四半期と第2四半期の合計で2億5,000万円となり、前年同期に比べて137%と順調に売り上げを伸ばしております。

貸借対照表

(単位: 百万円)	2019年10月期	2020年10月期2Q	増減額	2019年10月期	2020年10月期2Q	増減額	
流動資産	2,875	2,807	▲68	流動負債	429	346	▲82
現金・預金	2,154	2,152	▲2	買掛金	182	155	▲27
売掛金	514	390	▲123	固定負債	142	137	▲5
その他	206	264	+57	負債合計	571	483	▲88
固定資産	285	277	▲7	純資産合計	2,588	2,600	+12
有形固定資産	103	103	+0	資本金	286	286	0
無形固定資産	59	53	▲5	資本剰余金	276	276	0
投資その他資産	122	120	▲2	利益剰余金	2,026	2,038	+12
資産合計	3,160	3,084	▲75	負債純資産合計	3,160	3,084	▲75

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

9

貸借対照表の各数値です。前年期末に比べて、特段、大きな変動はございません。

自己資本比率は84.3%となり、引き続き強固な財務基盤を維持しております。

3. 2020年10月期 業績予想

2020年10月期 業績予想

次に、2020年10月期 業績予想について、ご説明申し上げます。

下半期の業績見通しの前提



下期の販売促進広告市場の予測

6月に外出自粛要請が緩和され、国内経済は復調に向かうとの前提をおいているものの、当社の主力ビジネスである販売促進用広告制作の需要の回復には2、3カ月のタイムラグが生じると想定。

売上の予測

下期の売上について、第3Q（5～7月）は期初予想の5割程度と低調に推移し、第4Q（8～10月）は期初予想の7割程度と徐々に回復すると予想。当期末（10月末）まで段階的な正常化を想定している。

利益の確保について

通常時よりも需要が減退する局面においては、コスト管理を徹底し、適正な利益の確保を目指す。

本年5月15日に今期の業績予想を修正いたしました。この業績予想の前提となります当下半期の業績見通しについてご説明いたします。

まず、当社の主力ビジネスである販売促進用広告市場の下期における予測でございます。6月に外出自粛要請が緩和されました。これに伴い、国内経済は復調に向かっていくとの前提をおいておりますが、当社の主力ビジネスである販売促進用広告制作の需要が回復するには、更に2、3カ月のタイムラグが生じると想定いたしました。

このような前提で、当社の下期の売上を予測いたしました。

当社の下期の売上は、5月から7月の第3四半期においては期初予想の5割程度と低調に推移し、8月から10月までの第4四半期において期初予想の7割程度と徐々に回復すると予想しております。

このように、当期末、すなわち10月末まで段階的に正常化をしていくと予測いたしました。

利益を確保する観点からは、通常時よりも需要が減退する局面においては、当然に、コスト管理を徹底し、適正な利益の確保を目指すことを前提にしております。

2020年10月期通期業績予想の修正



このような前提の下、次のように通期業績予想を修正。

(単位：百万円)	2019.10 実績	2020.10 前回発表 予想	2020.10 5/15発表 修正予想	増減額	増減率
売上高	3,011	3,200	2,500	▲700	▲21.9%
営業利益	426	497	190	▲307	▲61.8%
経常利益	426	496	193	▲303	▲61.1%
当期純利益	311	330	132	▲197	▲59.8%

今期の配当予想については、通期業績予想を下方修正したことに伴い、前回予想の見直しを実施。期初予想における配当性向を考慮に入れ1株につき20円00銭に変更。

期末配当金	
2019.10	2020.10
50円 (実績)	20円 (予想)

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

12

先にご説明いたしました業績予想の前提に基づき、本年5月15日に公表いたしました今期の業績予想の修正内容についてご説明いたします。

修正後の売上高は25億円といたしました。前回公表いたしました期初予想から7億円、21.9%の減となります。

営業利益は、1億9,000万円といたしました。前回公表いたしました期初予想から3億700万円、61.8%の減となります。

経常利益、当期純利益についても、ご覧の通り、約6割の減と厳しい予想といたしました。また、今期の配当については、業績予想を修正したことに伴い、前回予想の見直しを実施し、期初予想における配当性向を考慮に入れ、1株につき20円に変更させていただきました。

下半期の施策

**新型コロナウイルス感染症による受注減局面において**

- 当社の強みである短納期対応のため、柔軟な勤務シフトを構築し24時間生産体制を維持
- 受注量に応じた残業時間抑制等のコスト削減
- 回復局面を見据えた生産体制維持のための雇用の維持、採用活動の継続

新たなビジネスチャンスにおいて

- 新型コロナウイルス感染症が継続する環境下における「新しい生活様式」関連商材、ソーシャルディスタンスサインなどの販売促進
- 3Dプリント技術を活用し、販促広告を含めた多岐に亘るテストマーケティング分野でのニーズ獲得を目指す

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

13

次に、下半期の施策についてご説明申し上げますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内経済が大きく落ち込んでいる中とは言え、このような厳しい業績予想になりますことを心苦しく感じております。下半期に向けて、当然ながら、前提通りに経済が回復していくならば、今回予想を最低ラインとして、更なる業績向上を目指し尽力してまいります。

このため、下半期における新型コロナウイルス感染症による受注減局面において、当社の強みである短納期対応を継続するため、柔軟な勤務シフトを構築し24時間生産体制を維持してまいります。

一方で、受注量の減少に応じて、残業時間の抑制などを実施しコスト削減に努めます。

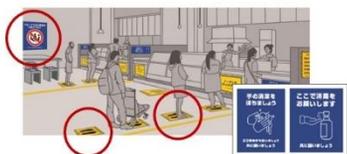
また、今後の回復局面を見据えて、生産体制維持のために雇いを維持し、採用活動を継続してまいります。さらに、新たなビジネスチャンスを逃さず取り込んでまいります。新型コロナウイルス感染症が継続する環境下において「新しい生活様式」が推奨されております。これに関連する商材や、ソーシャルディスタンスサインなどの発注が増えてきておりますので、これらの販売を促進していきます。

また、3Dプリント技術を活用し、販促広告を含めた多岐に亘るテストマーケティング分野でのニーズ獲得を目指します。

TOPICS



3Mジャパンと協業し ソーシャルディスタンスサインの販売を開始



新型コロナウイルス感染拡大防止に貢献するため、人と人の物理的な距離を保った待機位置を示したり、消毒グッズなどの場所を示すサインの販売を開始しました。

アフターコロナを見据えた 商材提案

緊急事態宣言解除後の店舗などの営業再開に向け高まる抗菌、抗ウイルス関連のアイテムの需要に応えるべく、弊社ではインクジェットを用いた抗菌消臭商材を数多く提案しております。



© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

14

先程申し上げました、新しいビジネスチャンスの具体例として、3Mジャパンと協業し、ソーシャルディスタンスサインの販売を開始いたしました。新型コロナウイルス感染防止のため、人と人の物理的な距離を保った待機位置を示したり、消毒グッズなどが置いてある場所を示すサインです。

また、アフターコロナを見据え、インクジェットを用いた抗菌消臭商材を数多く提案しております。

TOPICS



当社の3Dプリント技術がNHKニュース番組で 紹介されました

当社の3Dプリンターで制作した簡易人工呼吸器の部品の試作品が、4月8日のNHKニュース番組で使用され、制作工程が放映されました。これは医療機関が3Dプリンターで量産できる簡易人工呼吸器の実用化を目指しているとの報道の中で取り上げられたもので、当社が保有する3Dプリンター技術を広く示すことができました。



3Dプリントに関しましては、当社の3Dプリンターで制作した簡易人工呼吸器の部品の試作品が、4月8日のNHKニュース番組で使用され、制作工程が放映されました。これは医療機関が3Dプリンターで量産できる簡易人工呼吸器の実用化を目指しているとの報道の中で取り上げられたもので、当社が保有する3Dプリンター技術を広く示すことができました。

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

15

TOPICS



3Dプリント技術を使用した 新型コロナウイルス感染対策商品

当社では、3Dプリンター技術を使用して、新型コロナウイルス感染防止用のフェイスシールド、ドアオープナーなどの制作を行っております。



3D立体マスク

ドアオープナー

フェイスシールド

ノンタッチマルチ
ツール

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

16

当社では3Dプリンター技術を使用して、この他にも、新型コロナウイルス感染防止用のフェイスシールド、ドアオープナーなどの制作を行っております。

重点施策と今後の取り組み



今期の重点施策は、新型コロナ影響下においても 環境変化に応じつつ着実に推進

1. 訴求力を強化する取り組み

- 都心部拠点の拡大
- Webマーケティング活用で広域ユーザへアプローチ

2. 生産力を強化する取り組み

- オートメーション化推進

3. 新たな業界への挑戦

- インテリア、内装業界への進出
- 建材業界へ進出

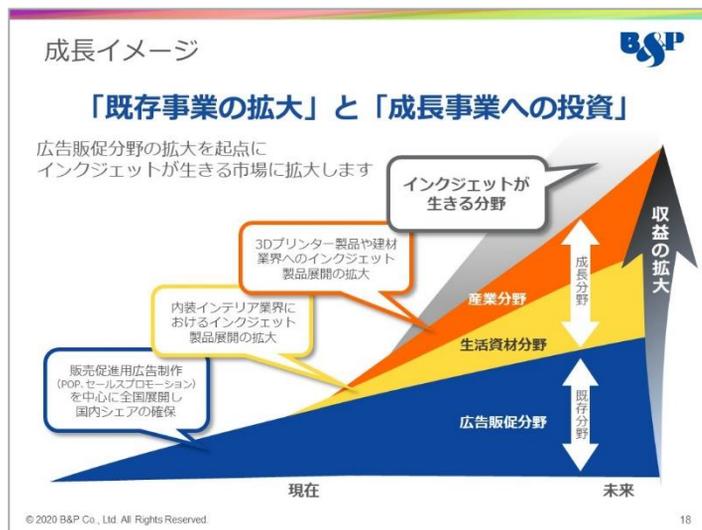
4. 新分野への挑戦

- 3Dプリントのテストマーケティング

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

17

今期の重点施策については、新型コロナ影響下においても環境変化に応じつつ、1つ目といたしましては、訴求力を強化する取り組み。2つ目といたしましては、生産力を強化する取り組み。3つ目といたしましては、新たな業界への挑戦。4つ目といたしましては、新分野への挑戦これらを着実に推進してまいります。



弊社の成長イメージといたしましては、既存事業の拡大と成長事業への投資でございます。これまで広告販促分野で高収益体質を進めてきましたが、この私どもの収益モデルを別の業界へいかに転用できるかということに着目しています。

1つ目は生活資材分野への転用です。主に内装インテリア業界に向けて、インクジェット製品の展開、拡大を進めています。

それからもう1つは産業分野への転用でございます。3Dプリンター製品や建材業界へ向け、インクジェット製品の展開、拡大を進めています。成長の軸といたしましては、やはりインクジェットの技術が生きる市場に対して、私どもは展開していく。こういったことを成長イメージとして入れております。

4. 参考資料

参考資料

最後に参考資料です。

事業概要



企業理念 より良い働きを通じて全従業員の物心両面の幸せを創造し社会へ貢献しよう

事業内容 販売促進用サインディスプレイの制作
屋外用大型サイン・広告の制作
建物の内装、インテリア用品の出力、制作
広告企画および制作に関する提案業務

代表者 代表取締役社長 和田山 朋弥

設立 1985年10月

資本金 2億8千6百万円

本店 大阪府大阪市西区

事業所 大阪、東京、横浜、名古屋、福岡

従業員数 正社員：190名（2020年4月末現在）

上場証券取引所 東京証券取引所マザーズ（証券コード：7804）

上場日 2019年7月24日

まず事業概要でございます。こちらは、当社の事業概要を示しております。

企業理念だけ申し上げます。企業理念は、「より良い働きを通じて全従業員の物心両面の幸せを創造し社会へ貢献しよう」としております。私どもが上場にチャレンジしたのも、やはり社員に向けてのモチベーションアップという部分は非常に多くありました。企業のベースとして働いてくれるのは社員ということをベースに置きながら、株主価値を最大限まで高めていく、そういったことを考えております。

主要拠点



「東西大都市」で「営業・連携生産体制」保有



© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

21

それから主要拠点でございますが、東西大都市での営業・生産体制でございます。大きくは大阪本店、東京本社、それから横浜でございますニコール事業部です。この3拠点にそれぞれ約50名から60名が在籍しておりますので、同じようなサービス体制を行うことが可能でございます。それから福岡、名古屋エリアにも開設しておりますので、将来的にはこの3つの大拠点と同じようなレベルまで持っていくと、そういったイメージを持っております。

主要拠点



大阪・東京・横浜・名古屋・福岡の都心部にプリンター設備を配置。
24時間生産体制で出力サービスを展開



© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

22

私どもの主要拠点であります大阪・東京・横浜の社内のイメージです。都心部にあるオフィスにこのようなインクジェットプリンターを並べまして、短納期のサービスを展開しております。

充実の設備で最適な商品を提案



100台以上の生産機械によって 多種多様なサインディスプレイ製品を制作



© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

23

それから充実の設備という形でございまして、私どもが保有する設備は業界の中ではトップクラスでございます。このインクジェットプリンターの設備を約100台近く保有しておりますので、24時間生産体制にてお客さまへのサービスに対応するという形で展開しております。

免責事項



将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

24

最後は、免責事項といたしまして、将来の見通しに関する注意事項を記載させていただいております。

IRに関するお問い合わせ



ご清聴、誠にありがとうございました。

<お問い合わせ先>

株式会社ピーアンドピー 経営管理部

Email: ir_bp@bandp.co.jp

<https://www.bandp.co.jp/ir/>

© 2020 B&P Co., Ltd. All Rights Reserved.

25

当第2四半期の決算説明は、以上でございます。最後までご視聴いただき、誠にありがとうございました。

この動画に関するご質問がございましたら、ここに表示されておりますメールアドレスまでご質問をお送りください。

今後とも当社へご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。